

家事塾問診シート 分析の手引き

2010年11月 制作

2013年4月 改定

【問合せ】

家事塾 事務局

therapi@kajijuku.com

目次

- 【共通】キット利用規約
- 【共通】注意事項
- テキスト
- 【共通】必要書類

【共通】キット利用規約

- このキットの著作権は家事塾に帰属します。
- クライアントや購入者以外に、キットの一部または全部をコピーやスキャンして渡してはいけません。著作権侵害にあたります。
- このキットを価格・内容とも勝手に改編して自主企画として開催することは、著作権侵害にあたります。
- このキット内容を実施するにあたり、別記の標準価格を著しく下回る金額で受注してはいけません。
- 家事塾の公式講座としての品質・メッセージを担保するため、パートごとのアレンジOK／NGは必ず守って設計してください。
- キット内容を更新したり、お知らせがある場合はメールで連絡します。必ず目を通し、最新のものを使うようにしてください

※キットに関する質問・相談・要望などは家事塾事務局までお寄せいただくか、報告書に記入してご提出ください。

【共通】注意事項

会員規約の順守

パートナー会員規約に記載されている会員規約を順守しましょう。

家事セラピストとして／講師として

家事セラピストとして、教育観、家族形態、地域、職業、収入、土地、政治、宗教、人種などについて多様な価値観を否定するような発言、態度は慎みましょう。

例)「お父さん」の存在を前提にした問いかけ、「3歳までは親元で育てるべき」「一戸建が一番いい」

講師として、服装やメイクなど身だしなみに気を配りましょう。

また、言葉づかいにも配慮し、友人や知人が来ている場合に特別扱いするような態度や言動は慎みましょう。

クライアントに対して

家事塾から派遣される場合は特に、前もってクライアント情報はホームページなどで調べておきましょう。

挨拶や打合せは、クライアントの本業に差し支えないよう、日程や時間帯に配慮して設定しましょう。

例) 土日の接客時間帯に打合せを設定する、昼休みや営業時間外に電話する等

名刺を渡す際は必ず家事セラピストとしての名刺を渡しましょう。

講師の宣伝や資料に用いる目的で写真撮影・録音などを行う場合は事前に許可を得ましょう。家事塾派遣の場合は、事務局から許可をとります。

クライアントや参加者とのやりとりにおいて生じたトラブルは、責任の所在・問題の大小を問わず必ずすぐに事務局にご報告ください。

問診シートのポイント

この診断シートは、記入することに第一義的な価値があります。プロフィールを含め、日常の具体的なことを質問されることで、「この質問には、どのような意図があるのだろう」と(一般的には)考えるでしょう。

そのとき、おのずから「そうか、私はこうなんだ」と反省したり、発見したりする。この発見感から、自己分析を深めていきたいものです。

もちろん、同居家族(たとえば妻)が、本人(たとえば夫)の行動について記入し、その結果を夫が見て自らを発見する、という流れも考えられます。その発見には、当人の自己分析からは引き出せない、よりリアルなものが得られるかもしれません。

本人の暮らしへの関心(自覚している度合も含め)や、家族関係(夫と妻の暮らしへの認識があまりにも違う、など)といった要件によっては、同居家族による記入をすすめてもかまいません。しかし、まずは本人が記入し、その記入作業によって自分の日常の何かに気づく、というプロセスを取ることを基本とします。

記入時だけでなく、セラピストがクライアントに対して分析結果の説明をしたり、この問診シートを使いながら家事セラピーや片づけコンサルティングをするとき、クライアント自身の発見感をうまく引き出すようにしたいものです。

分析結果を見せて、セラピストが「あなたの性格はこうです。だからこうしましょう」と分析してみせることが問題解決に結びつくとは限りません。性格分析の常として、本人の自覚と診断結果が食い違う(まったく逆になる)場合は多々あります。「おかしいなあ、私は違うんだけど」とクライアントが言ったときに、「いや、あなたの性格はこうだと出ている」と断定することは避けましょう。

「そうですね、診断とは違いましたか。どのへんが違うと思いましたか？」など、「違った」という認識から、次の自己分析、気づきへと誘導したいものです。

問診0 「家のモノについて」の使い方

【プロフィールについて】

基本的な情報を事前に把握するものです。名前・性別のほか、ライフステージを主に把握していきます。セラピーにおいては、最初の話の糸口にもなります。

このような診断シートやアンケート調査票において、何をプロフィールとして把握するかを決めるのも、大切な作業といえます。

◆年齢

年齢は出生コーホート(いわゆる世代)でまとめてみる時に使う。時代や年齢の変化による違い、年代(ライフステージ)別の違いなどで分析する。

◆職業や居住形態、家族構成

生活背景を知るためでもあり、定量的調査では、クロス集計(2つ以上項目をかけあわせて集計し、そこから傾向を読み取ること)の結果で個人の傾向を分析することもできる。

【身体状態について】

本人の暮らし方だけでなく、家族関係にも大きな影響があります。

◆視力が悪ければ小さなラベルは見えない、床の上のほこりも見えない。視力がよければ、床の上のほこりだけでなくあらゆる所が「汚く」見える。

◆身長が高ければ使い勝手のよい収納場所の範囲は高い方(天井側)に広がる。低ければ狭まる。

◆持病があれば、それに従ったモノや家事が必要になる。アレルギーなどは現代において必須の考慮ポイント。

【生活歴・成育歴について】

育った環境や、家庭経営の経験（一人暮らし、介護の経験など）、いつも通りの生活か特別な状態かによって、その人が現在感じている困難（または快適さ）は違ってきます。ただし、すべてのことを成育歴に帰結するのは望ましくありません。きょうだいでも暮らし方が異なるのはあたりまえであって、参考にする程度にしてください。

◆家族形態によって、家庭のルールの共有化の習慣があるかどうかがわかる。

◆育った地域によって、近所づきあいや伝承文化への意識が変わる。

◆育った家によって、メンテナンスの考え方や家事の仕方（マンションであれば、外にゴミを掃き出すことはできない、など）の常識が変わる。

【これまでの暮らしについて】

自分年表を書いてもらうことで、「自分のこと」を考えてもらう部分です。過去を振り返りつつ、未来を想像することで「今の私」の状態を客観的にみたり、その状態が長い人生の中でどの位置にあるものなのかを知る手掛かりとなります。

たとえば、人生の繁忙期の家事や片づけと、忙しさが一段落した時の家事・片づけは、同じではありません。時系列で暮らしを見ることで、人生という長いスパンで今の暮らしの納得解を考えられればよいでしょう。

【生活に関する好みについて】

たくさんキーワードのなかで、自分が気になったもの（好き・嫌いともに）に注目します。抽出したものを「グループ分け」し、「タイトルをつける」ことに意味があります。

同じ言葉でも、人によって分け方が違ったり、タイトルに個性が出てきます。この分け方やタイトルのつけ方は、その人となりの世界観が表れますので、セラピー最初のヒアリングなどでそれぞれの理由などを聞いてみるのもいいでしょう。

まずは、自分でもやってみましょう。

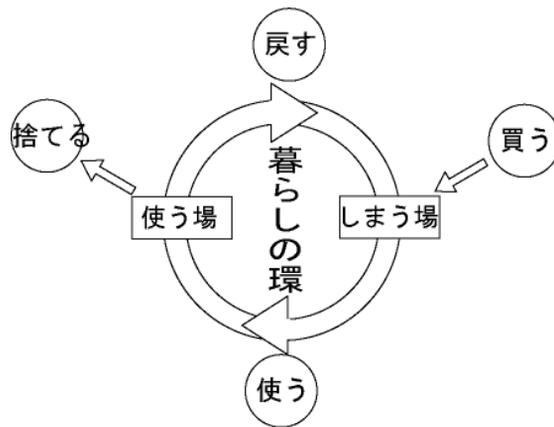
問診1 「家のモノについて」の使い方

この問診は、その人のモノを取り扱う傾向について診断するものです。つまり、その人の片づけ・収納の得意・不得意をグラフでわかるようにしたものです。

グラフの形が大きいほうがよくて小さいとだめ、正六角形だとよくて星型だとだめ、というわけではありません。そういう傾向を持っている、というだけのことです。ただ、もちろん、平均よりもグラフが大きいほうが、全般に片づけが得意、という結果になります。

また、棒グラフ状に、家族全員分の数値を足し合わせることで、その家の片づけ・収納の弱点(うまくいきにくいところ)を発見できるようになっています。

指標は、家事塾の「暮らしの環(物の循環)」の理論に基く、6つの指標です。それぞれの指標については、以下の通りの内容を指しています。



- 指標1-1：捨てる＝使わない物を暮らしから追い出し、使う物を選ぶ能力。
- 指標1-2：買う＝必要な物（必需品、あると幸せな物）を選び取り、暮らしに取り入れる能力。
- 指標1-3：定量＝ちょうどいい量（自分が使いこなせる量）を維持する能力。
- 指標1-4：定位置＝使いやすく戻しやすい物の位置（秩序）を決める能力。
- 指標1-5：元に戻す＝使った物を定位置に戻す（片づける）能力。
- 指標1-6：使う・まわす＝暮らしにある物をしっかり使い（つづけ）、使い切っていく能力。

2級テキストの該当部分はもう一度よく読んでおきましょう。

分析の手順

(1) 全体の流れ

- ① クライアントの回答から、数値をグラフ化する
- ② ①のそれぞれの数値を見ながら、テキストに従って判定する
- ③ 判定結果を分析結果フォーマットに記入し、分析する。

(2) 作業

【Step1: 判定の準備】

セラピストの作業手順には、ワークシート「問診シート分析シート」を使用(手書き)

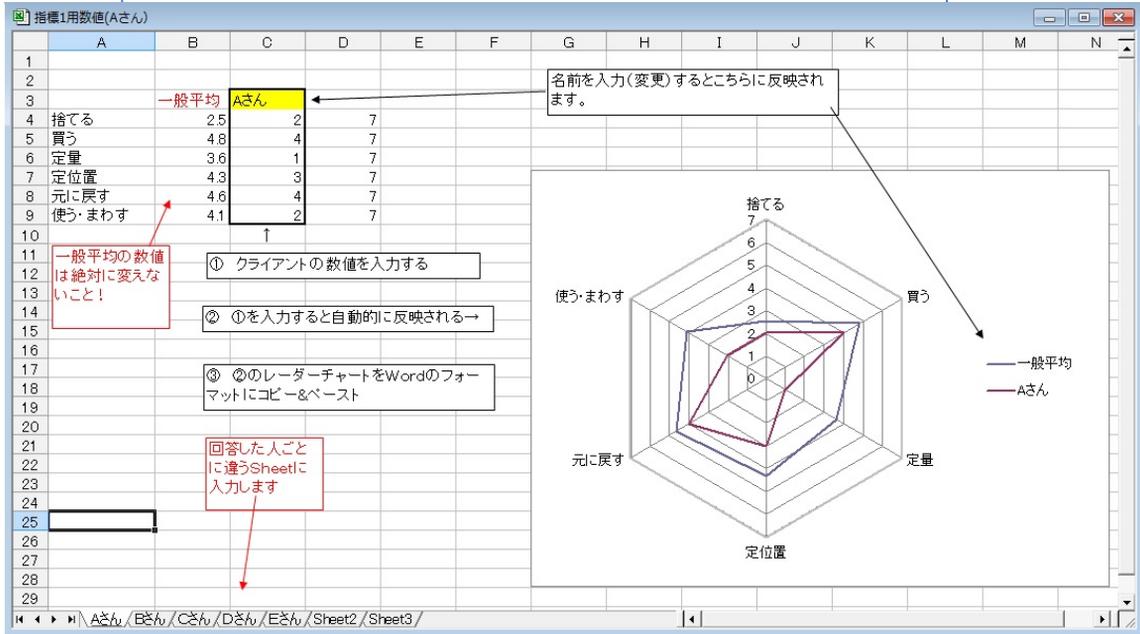
- ① 指標1-1～1-6の度数(×の数)を、レーダーチャートにプロットする。
- ② それぞれの点をつないで、グラフ化する。
- ③ 6つの度数それぞれが平均値以上か、チェックする(平均値以上=+、未満=-の印をつけておく)。

ここで使用する度数は、「あてはまらない=×」の数です。
○の数を記さないように注意！！

エクセルデータでのレーダーチャート作成手順

【モノマップ】

クライアントへの資料作成には、エクセルフォーマット「レーダーチャート作成用」を使います。



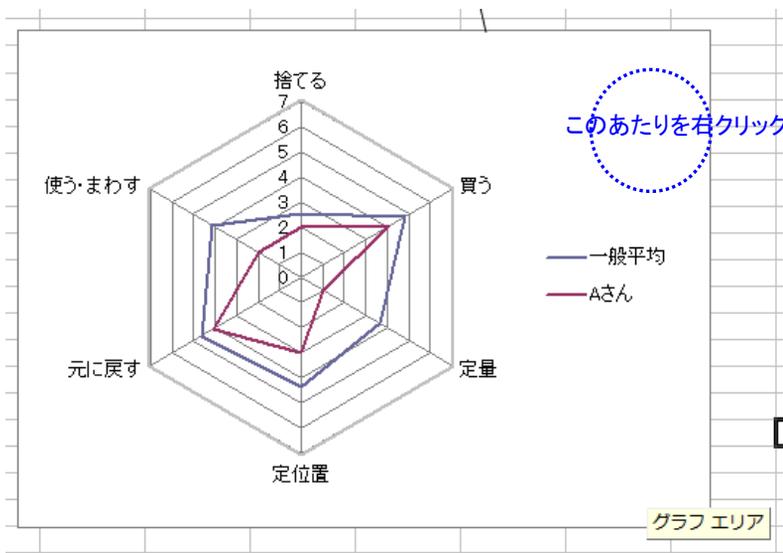
①指標1-1～1-6の、b(いいえ)の数を数え、エクセルのフォーマット「レーダーチャート作成用」フォーマットに入力します。

	一般平均	Aさん	
捨てる	2.5	2	7
買う	4.8	4	7
定量	3.6	1	7
定位置	4.3	3	7
元に戻す	4.6	4	7
使う・まわす	4.1	2	7

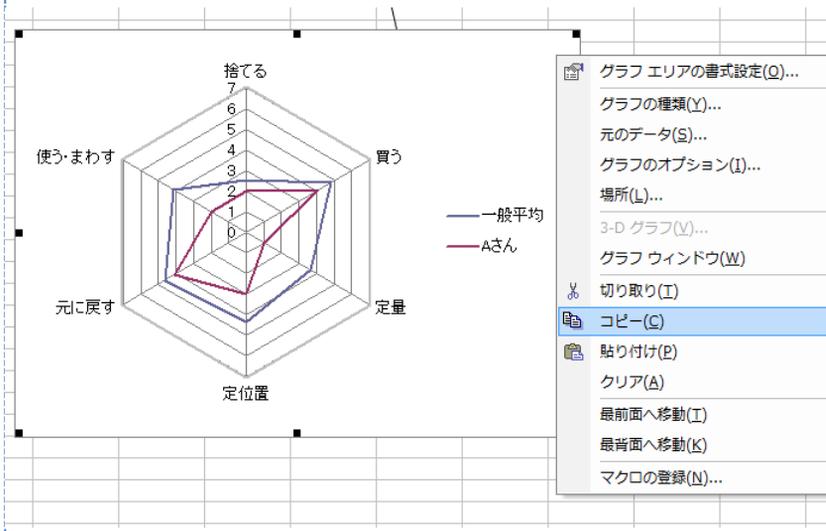
一般平均の数値は絶対に変えないこと!

① クライアントの数値を入力する

②数値を入力すると、自動的にレーダーチャートの図が作図されますので、その図(グラフエリア)をコピーし、Wordの問診シート結果フォーマットにペーストします。

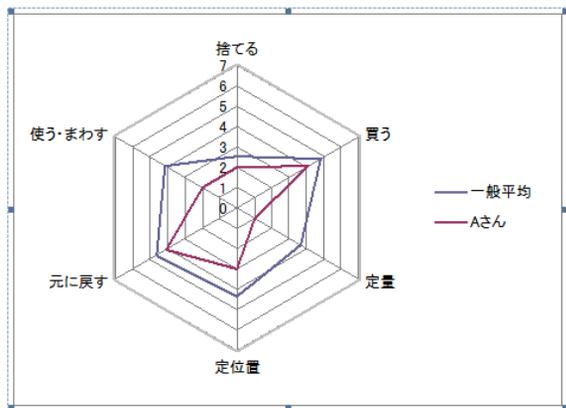


エクセルデータとWordデータを同時に開いておきます。



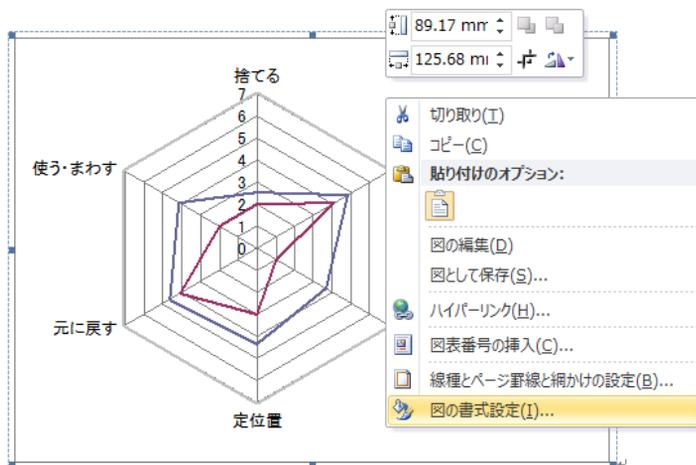
問診シート診断結果

Aさん



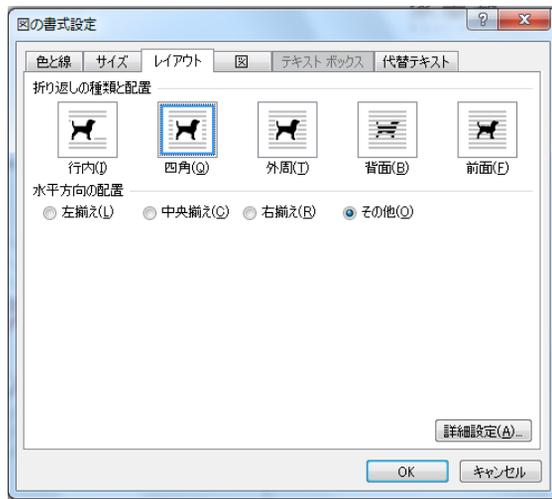
指標 1 【「暮らしの環」の状況】

Word文書の適当な場所にペーストする (Ctrl+v)



貼りつけた図の上で右クリック。

図の書式設定のダイアログボックスを開く。



「レイアウト」を四角に設定する

問診シート診断結果

A さん

指標1【「暮らしの環」の状況】

あなたは、物を溜め込みがちな人です。開放的な(外から入れ、外へ出す)物の流れをつくっていくのが、やや苦手なようです。

家の外から中へと物が入ってきて、暮らしのなかでどんどん使い、そして外へと出していくことで、すっきりと気持ちのよい暮らしが営めます。物は流れているのだということについて、意識してみてください。

図をドラッグで移動し、適切な場所にレイアウトする。

③分析コメントを作成します。(赤囲み部分)

問診シート診断結果

A さん

指標1【「暮らしの環」の状況】

あなたは、物を溜め込みがちな人です。開放的な(外から入れ、外へ出す)物の流れをつくっていくのが、やや苦手なようです。

家の外から中へと物が入ってきて、暮らしのなかでどんどん使い、そして外へと出していくことで、すっきりと気持ちのよい暮らしが営めます。物は流れているのだということについて、意識してみてください。

分析の方法は次ページより

【Step2: 全体評価Aを判定する】

ワークシート「問診シート分析ワークシート」と以下のテキストを使用。

①6つの度数がすべて平均値以上→判定A1。

A1に該当しない人は、②へ。

②「捨てる」「買う」の2つの度数だけで判定。

「買う」平均以上平均未満「捨てる」平均以上A2A3

平均未満A4A5

③ワークシートのA欄に判定(A1～A5のいずれか)を記入する。

		「買う」	
		平均以上	平均未満
「捨てる」	平均以上	A2	A3
	平均未満	A4	A5

③ワークシートSのA欄に判定(A1～A5のいずれか)を記入する。

【Step3:Aの判定ごとに特徴Bを判定する】

〔A1〕

①「捨てる」の値が5以上か、チェックする。

②「捨てる」以外でいちばん度数の高いindexを選び、ワークシートの「度数」欄の右側に印をつけておく。

度数が同じものがある場合は、2つ選んでもよい。もし3つ以上ある場合は、自分の感覚で2つにしぼる。

③「捨てる」の値と、選んだindexの種類で判定する。

ただし、手順②で2つ選び、その組み合わせが「定位置」「定量」の人は、④へ。

「捨てる」が5以上	B1
「捨てる」が5未満	B3

(手順⑤に進む)

④「捨てる」の値で判定する。

「捨てる」が5以上	B2
「捨てる」が5未満	B4

⑤ワークシートのB欄に判定(B1～B4のいずれか)を記入する。

[A2]

[A2]

- ①いちばん度数の低いindexを選び、ワークシートの「度数」欄の右側に印をつけておく。度数が同じものがある場合は、自分の感覚で1つにしぼる。
- ②選んだindexの種類で評価する。

「戻す」	B5
「回す」	
「定量」	B6
「定位置」	

- ③ワークシートのB欄に判定 (B5、B6のいずれか) を記入する。

[A3]

- ①「捨てる」以外でいちばん度数の高いindexを選び、ワークシートSの「度数」欄の右側に印をつけておく。度数が同じものがある場合は、2つ選んでもよい。もし3つ以上ある場合は、自分の感覚で2つにしぼる。
- ②判定はすべてB7とする。ワークシートのB欄に記入する。

B7

[A4]

①「買う」「捨てる」以外の4項目で判定する。

	「定量」「定位置」 2つとも平均以上	左記に 該当しない
「戻す」「回す」 2つとも平均以上	手順②へ	B8
上記に 該当しない	B9	B10

(判定が出たら手順③へ)

②「定量」「定位置」と、「戻す」「まわす」と、どちらが得意そうか自分の感覚で判断する。それによって、以下の判定とする。

「定量」「定位置」が得意そう	B9
「戻す」「まわす」が得意そう	B8

③ワークシートのB欄に判定(B8～B10のいずれか)を記入する

[A5]

①「買う」「捨てる」以外の4項目で判定する。

	「定量」「定位置」 2つとも平均以上	左記に 該当しない
「戻す」「回す」 2つとも平均以上	手順②へ	B8
上記に 該当しない	B9	手順③へ

(判定が出たら手順⑤へ)

②「定量」「定位置」と、「戻す」「まわす」と、どちらが得意そうか自分の感覚で判断する。それによって、以下の判定とする。

「定量」「定位置」が得意そう	B9
「戻す」「まわす」が得意そう	B8

(判定が出たら手順⑤へ)

③いちばん度数の高いindexを選び、ワークシートの「度数」欄の右側に印をつけておく。度数が同じものがある場合は、自分の感覚で1つにしぼる。

④手順③で選んだものの度数で判定する。

度数が平均以上	B11
度数が平均未満	B12

⑤ワークシートのB欄に判定(B8、B9、B11、B12のいずれか)を記入する。

【Step4: 診断文を完成させる】

ワークシートと次ページの「判定シート」を使用

①判定シートのA「全体評価」の、判定にあてはまる欄(A1～A5のいずれか)を読む。

②B「特徴と改善アドバイス」の、判定にあてはまる欄(B1～B12のいずれか)を読む。診断文内に【 】があるときは、Step3の中で選んでおいたindex(ワークシートSの「度数」欄の右側に印をつけたもの)をあてはめる。

(3) 判定の評価について

【結果の見方】

・グラフが大きければ(指標の数値が7に近ければ)よいというわけではない。

・グラフが正六角形に近ければよいというわけではない。

・回答が「いいえ」で得意と評価する設計になっているので、指標の数値が高い人はより自己肯定的(よくない点を指摘されても、違ふと自信をもって言える傾向)、数値が低い人は反省的(よくない点を指摘されると、思い当たってしまう傾向)と言える。

・グラフの形がその人の現在のモノ傾向ということであって、その傾向に合わせた暮らし方をみつけていけば、気持ちよく暮らせる、と考える。

【分析コメント：A全体評価】

クライアントに提出する分析結果シートにはWordデータ「分析用コメント」から該当箇所をコピー&ペーストしてください。

A	全体評価 とくに「開放的な循環」ができているか
A1	あなたは、暮らしをうまく循環させられる人です。
A2	あなたは、暮らしの循環を開放的にまわしていける人です。自分の家のなかだけにとどまらず、外から・外への出し入れを積極的にできる人です。
A3	あなたは、よく努力して暮らしをうまく循環させているように見受けられます。
A4	あなたは、やや物を溜め込みがちな人です。とくに捨てるのが苦手なために、暮らしの外と中との物の流れがうまくいっていないようです。
A5	あなたは、物を溜め込みがちな人です。開放的な（外から入れ、外へと出す）物の流れをつくっていくのが、やや苦手なようです。

【分析コメント： B「特徴と改善アドバイス」】

B	特徴と改善アドバイス
B1	とくに、多くの人が苦手な「捨てる」、そして【高い指標1つまたは2つ】について「得意」という評価が出ています。物の循環について、バランスのよい感覚と技術をもっている人といえるでしょう。もし実際には、家がすっきりしていないのだとしたら、物を取り扱う感覚や技術以外の要因、たとえば「たいへん忙しく、家にいないことが多い」などが原因となっていると考えられます。
B2	とくに、多くの人が苦手な「捨てる」、そして「定量」「定位置」について「得意」という評価が出ています。物の循環や置き方について、バランスのよい感覚と技術をもっている人といえるでしょう。もし実際には、家がすっきりしていないのだとしたら、物を取り扱う感覚や技術以外の要因、たとえば「たいへん忙しく、家にいないことが多い」などが原因となっていると考えられます。
B3	「捨てる」については平均的ですが、【高い指標1つまたは2つ】について「得意」という評価が出ています。物の循環について、バランスのよい感覚と技術をもっている人といえるでしょう。「捨てる」能力をさらに磨けば、よりバランスのよい循環がつかれるでしょう。
B4	「捨てる」については平均的ですが、「定量」「定位置」について「得意」という評価が出ています。物の循環や置き方について、バランスのよい感覚と技術をもっている人といえるでしょう。「捨てる」能力をさらに磨けば、よりバランスのよい循環がつかれるでしょう。
B5	もし家のなかがすっきりしていないとしたら、物の量の問題よりも物の動かし方について、とくに【低い指標どちらか1つ：「戻す」／「まわす・使う」】行動ができているか、考えてみてください。

【分析コメント：B「特徴と改善アドバイス」】

B	特徴と改善アドバイス
B6	もし家のなかですっきりしていないとしたら、物の置き方について考え、とくに【低い指標どちらか1つ：物の定位置をしっかり決める／自分にとってちょうどいい物の量を見つける】ことを心がけてみてください。
B7	多くの人が苦手とする「捨てる」、そして【高い指標1つまたは2つ】について「得意」という評価が出ています。一方で「買う」の評価がやや低いのが気になります。「捨てる」と「買わない」ことは同じではありません。あなたがもっている「捨てる」能力に、「かしこく買う」能力が加われば、暮らしの循環はもっと開放的に快適にまわっていくでしょう。
B8	家のなかではしっかりと物の循環を整えられる力があります。少し視野を広げて、家の中だけでなく外との物の流れについても、意識してみてください。
B9	物の量や位置などを意識して「止まっている物」を管理する力があります。家の中でも、家の中と外との間でも物は動いて（流れて）いるのだということを意識して、暮らしの環をうまく循環させる技術を身につけましょう。
B10	外からの物の流れである「買う」についての能力があるので、外への物の流れである「捨てる」についての能力を磨けば、開放的な暮らしの循環ができていくでしょう。
B11	家の外から中へと物が入ってきて、暮らしのなかでどんどん使い、そして外へと出していくことで、すっきりと気持ちのよい暮らしが営めます。「得意」という評価の出ている【高い指標1つ】を手がかりに、物は流れているのだということについて、意識してみましょう。
B12	家の外から中へと物が入ってきて、暮らしのなかでどんどん使い、そして外へと出していくことで、すっきりと気持ちのよい暮らしが営めます。物は流れているのだということについて、意識してみましょう。

【家族マップ】

①診断結果用紙の上段に、家族の名前を記入する。そのときに、**家族の色**(お父さんは青、お母さんは赤、おじいちゃんは水色、など)を決める。

②家族それぞれの指標1-1～1-6の、b(いいえ)の数を、足し合わせていく。具体的な作業としては、それぞれの色のペンや色鉛筆を使って、マス目を塗っていく。**左詰めで塗る**ようにする。

③判定をする。

i.全体を見る→レーダーチャートでの「**一般平均**」×**家族人数**を「**一般家族平均**」と考えて、全体に低い傾向にあるか、高い傾向にあるかを見る。

ii.家族のバランスを見る→誰かに比重がかかっているか、などの傾向を見る。不満の原因が隠れていたりする。→**右側の欄に記入する**

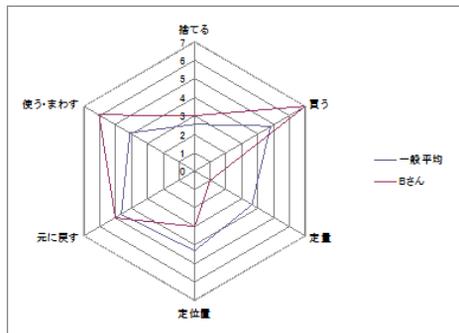
iii.とくにポイントが高い指標をみる→うまくいっている可能性が高い。→**右側の欄に+**を記入

iv.とくにポイントが低い指標をみる→うまくいっていない可能性が高い。→**右側の欄に-**を記入

B さん

あなたは、暮らしの循環を開放的にまわしていける人です。自分の家のなかだけにとどまらず、外から・外への出し入れを積極的に行う人です。

もし家のなかですっきりしていないとしたら、物の置き方について考え、とくに「自分にとってちょうどいい物の量を見つける」ことを心がけてみてください。



【家族マップ】

	A さん				B さん				一般平均 (平均値×人数)	〇〇さん家族	傾向
捨てる	+	+	+	+	+	+	+	+	5	5	±0
買う	+	+	+	+	+	+	+	+	9.6	11	+1.4
定量	+	+	+	+	+	+	+	+	7.2	2	-5.2
定位置	+	+	+	+	+	+	+	+	8.6	6	-2.6
元に戻す	+	+	+	+	+	+	+	+	9.2	9	-0.2
使う・まわす	+	+	+	+	+	+	+	+	8.2	8	-0.2

■分析結果をふまえたセラピーのポイント

6つの指標についてマイナス傾向が出たときに関して、セラピーポイントの例をあげておきます。セラピー時のヒアリング、質問やアドバイスの参考としてください(必ずしなければならないというものではありません)。それぞれの項目をクライアントと一緒に確認し、問題がありそうならばセラピーの際にどうすればいいのかを一緒に考えてみましょう。

片づけセラピー編

	留意点・アドバイスの例
捨てる	<ul style="list-style-type: none"> ・「捨てる技術」20カ条をもう一度、読んでみる。 ・日常生活で手に取った物を「これは、捨てられるのでは」と考えるクセをつける。 ・家族の中で「捨てる」が得意な人に、我が家の問題点を指摘してもらおう。
買う	<ul style="list-style-type: none"> ・「買うのは楽しいことだから、買ってもいい」と自分を許す。 ・意識的に「捨てる」の作業をして、なにを無駄に買ったかを検討しなおす。 ・買った物は家に帰ったらすぐ定位置を決めて、使うようにする(しまいこまない)。
定量	<ul style="list-style-type: none"> ・自分でも「多すぎる」と思っている物がないか、確認する。 ・「ここはうまくしまえている」と感じている収納場所を教えてください、その理由を考えてもらおう。 ・「使っていない物」は「捨てる」ということを再確認する。
定位置	<ul style="list-style-type: none"> ・適当な隙間を「定位置」にしていないか確認する。 ・しょっちゅう「定位置」を変えていないか確認する。 ・家族が「定位置」を知っているか確認する。
元に戻す	<ul style="list-style-type: none"> ・誰か一人(多くは主婦)が元に戻す作業をしているのではないか確認する。 ・元に戻すタイミングがルール化されているか確認する。 ・「使い終わったらすぐ戻す」が原則であること(そうすると、「片づけ」はしなくても済むようになる)を教える。
使う・まわす	<ul style="list-style-type: none"> ・持っている物はどんどん使うようにする。 ・物の扱い方(ガラス食器、漆、家具など)を教える(割れそうで.....といった理由で使わない人のため)

家づくりセラピー編

	留意点・アドバイスの例
捨てる	<ul style="list-style-type: none"> ・収納スペースを要望のままに多く作りすぎない（溜めこんでしまう） ・いま持っている物をいまのうちに選別して、持って行く量を把握するようにアドバイスする ・ゴミ置き場（ごみ箱の位置）の計画を相談しながらしっかり立てる
買う	<ul style="list-style-type: none"> ・新築にあたり無計画に物を買いきれぬようにアドバイスする ・新築時に買い替えたほうがよい設備をアドバイスする
定量	<ul style="list-style-type: none"> ・なにを持って行くのか決めたら、収納スペースはその物が入る量だけにする ・収納スペースには隙間等のゆとりは設けない ・「積みっぱなし」「置きっぱなし」がしにくい設計・造作にする
定位置	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の家で、「できないことを明らかにする」「見えないルールを見える化する」のワークをやってもらう。 ・新居のプランで、綿密に「何をどこに置くか」をいっしょに決める ・ご家族で新居の物の置き方のルール作りをするようにアドバイスする
元に戻す	<ul style="list-style-type: none"> ・物の移動がしやすいような設計にする（収納スペースは扉をつけない、高い所や床下収納などは極力避ける、など） ・ご家族で新居の物の置き方のルール作りをするようにアドバイスする ・新居のプランで「物の動線」のワークをやってもらう
使う・まわす	<ul style="list-style-type: none"> ・収納スペースを要望のままに多く作りすぎない（溜めこんでしまう） ・ウォークインクローゼットやパントリーは生活空間に近い所に、開放した空間として設計する

問診2 「家のコトについて」の使い方

■分析方法

この問診は、その家族のコトを取り扱う傾向について診断するものです。つまり、その家族の家事の得意・不得意をわかるようにしたものです。

暮らしがうまくまわり、家族が仲よく暮らすためには、じっさいに家の中でなされているコトがうまくまわっていなければなりません。つまり、家事について、個人作業ではなく家族全員が「できることをし、できないことは助けてもらう」なかで、家という共同体がうまくまわるものと言えます。

この問診では、「うちは片づけが苦手だから」「今度の家は掃除しやすい家にしたい」といったざっくりとした認識を、掃除のどの部分はうまくいっていて、どの部分は問題があるのか、と分解して見ていく、さらに、掃除と片づけと料理、共通して家族が苦手な作業や得意な作業があるかもしれない、という視点で見ていく、といった、段階的な分析ができます。

評価する視点は、いくつかあります。

【家事をジャンル別にみる】「掃除」

→「片づけ」などのジャンル別に見ていきます。

- ①○や×が多くついた項目を見る
- ②家族のうち、一人だけ○(または×)をつけ他の人が全員×(または○)をつけた項目を見る。
- ③全員空欄になった項目を見る

【家事を横断的に見る】

→ジャンルを問わず全体を眺めることで、家事共通の癖、特徴を見る。

- ①家族が得意な項目を、横断的に見ていく
- ②家族が苦手な項目を、横断的に見ていく。
- ③妻・母親が一手にやっている項目を、横断的に見ていく。

【共通】資料・書類

以下の書類は、家事塾ホームページ内の、家事セラピストメンバー専用ページに最新のを置いています。その都度ダウンロードして使用してください。
ロックがかかっているため、専用のパスワードを打ち込んで入手してください。

- 個人情報取り扱い同意書
- 領収証
- 講演講座報告書
- 受講者アンケート
- ご依頼主様アンケート
- プレゼンテーション用写真素材(スターターキット内)
- 営業チラシテンプレート&素材(スターターキット内)

⇒パスワードは、パートナー登録時にメールで通知されています

《本キットおよび関連資料に関するお問合せ先・書類提出先》

〒111-0042 東京都台東区寿4-6-11
株式会社 家事塾 事務局

電話:03-5246-4525

FAX :03-5246-4526

therapi@kajjuku.com